

平成 26 年度日本植物病理学会関東部会プログラム

平成 26 年 9 月 11 日(木)・12 日(金)
宇都宮大学 峰キャンパス (栃木県宇都宮市)
大学会館2階 多目的ホール

講演 10 分(予鈴 8 分), 討論 2 分

9 月 11 日(木)午前

10:25 開会挨拶 (関東部会長 : 夏秋 知英)

座長 : 小松 健

- 1 10:30 吉田雄紀¹・武市和香奈¹・木村真澄¹・○斎藤千寛¹・常盤三男²・安藤譲治²・
西川尚志¹・夏秋知英¹
(¹宇都宮大農・²カクヤス)
栃木県内のジネンジョから分離されるウイルスと弱毒株の探索
- 2 10:42 ○夏目祐樹・有波友紀・千賀麻弥子・高橋幸子・鍵和田聡・濱本 宏
(法政大植物医科)
ウメ輪紋ウイルス外被タンパク質のアミノ酸の差異がもたらす分子量変化
- 3 10:54 ○丸山千尋・川合昭・遠藤三千雄・太田智子・鍵和田聡・西尾 健
(法政大植物医科)
ウメから検出された *Cycas necrotic stunt virus* について
- 4 11:06 ○櫻井僚平・秦 寛以・今井順宙・川合 昭・西尾 健・鍵和田聡
(法政大植物医科)
ビーズを用いた ELISA による植物ウイルスの検出法

座長 : 鍵和田聡

- 5 11:18 ○國友映理子¹・牛尾進吾¹・横山とも子¹・富高保弘²・津田新哉²
(¹千葉農総セ・²中央農研)
千葉県のソラマメに発生した新規土壌伝染性ウイルス病害に対する各種薬剤
の防除効果
- 6 11:30 ○吉田哲也¹・北沢優悟¹・小松 健²・煉谷裕太郎¹・石川一也¹・福岡美里¹・
遊佐 礼¹・橋本将典¹・山次康幸¹・難波成任¹
(¹東大院農・²農工大院農)
3' 非翻訳領域内部に特異な poly(A) 配列を有するトバモウイルスのハイビス
カスからの分離とその全塩基配列の決定

7 11:42 ○小松 健^{1,3}・前島健作²・藤田尚子²・友光達哉²・松田健太郎²・山次康幸²・
有江 力¹・寺岡 徹¹・難波成任²
(¹農工大院農・²東大院農・³農工大テニユアトラック機構)
種内ゲノム変異の大きなポテックスウイルス種の RT-LAMP を用いた検出法の
確立

8 11:54 ○一ノ瀬俊¹・岡田 亮¹・福原敏行¹・有江 力¹・寺岡 徹¹・石原 亨²・
児玉基一郎³・森山裕充¹
(¹農工大院農・²鳥取大農・³鳥取連大)
Alternaria alternata N18 株に感染するマイコウイルスの遺伝子構造及びタンパ
ク質の機能解析

<昼休み> 12:06~13:30

関東部会役員会 (大学会館2階 トークルーム I, 12:10~13:10)

9月11日(木)午後

特別講演

講演, 討議 60分

座長 : 畔上耕児

13:30 中保 一浩 氏 (農研機構中央農研)
高接ぎ木法によるトマト青枯病総合防除技術の開発とその普及

<休憩> 14:30~14:50

座長 : 佐藤豊三

9 14:50 ○山内智史¹・窪田昌春²
(¹農研機構中央農研・²農研機構野菜茶研)
リーフレタスに発生した *Pythium aphanidermatum* による立枯病(病原追加)

10 15:02 ○植松清次¹・田中千華²・海老原克介¹・鐘ヶ江良彦¹・景山幸二³
(¹千葉農林総研暖地・²安房農業事務所・³岐阜大流域研セ)
ストックと食用ナバナに発生した *Pythium* 属菌による苗腐病(病原追加)

11 15:14 ○笹井裕里¹・舘 彩香^{1,2}・小沢 彩^{1,3}・吉澤祐太郎¹・小野文夫⁴・鍵和田聡¹・
石川成寿¹・堀江博道¹
(¹法政大植物医科・²ハラダ製茶株式会社・
³株式会社ツムラ生薬研究所・⁴西武造園)
花壇植栽の花き類 6 種に発生した白絹病

- 12 15:26 ○森田琴子¹・市之瀬玲美¹・柴田 葵¹・吉澤祐太郎¹・荒金眞佐子²・
鍵和田聡¹・石川成寿¹・堀江博道¹
(¹法政大植物医科・²東京健安研セ)
セイヨウオトギリソウ, カノコソウ, クマツヅラ, チゴユリおよびチャイブに発生し
た白絹病(新称)

座長：植松清次

- 13 15:38 石川成寿¹・○柴田 葵¹・土橋ひかり¹・和氣貴光²・小林 誠²・佐藤豊三³・
堀江博道¹
(¹法政大植物医科・²栃木農試・³生物研)
Colletotrichum gloeosporioides 種複合体の1種によるニンジン炭疽病(新称)

- 14 15:50 ○佐藤豊三¹・森脇丈治²・菅原 敬³・金子 繁¹
(¹生物研・²九沖農研・³山形西村山農普)
Colletotrichum dematium 種複合体所属菌株の分子再同定に基づくナルコユリ
およびポインセチア炭疽病の病原学名変更

- 15 16:02 ○市之瀬玲美¹・西川盾士²・森田琴子¹・吉澤祐太郎¹・荒金眞佐子³・
鍵和田聡¹・石川成寿¹・堀江博道¹
(¹法政大植物医科・²サカタのタネ・³東京健安研セ)
Alternaria crassa による薬用植物チョウセンアサガオ類の輪紋病(新称)

- 16 16:14 ○蓑島綾華¹・吉澤祐太郎¹・石川 葉¹・折原紀子²・深澤智恵妙³・鍵和田聡¹・
石川成寿¹・堀江博道¹
(¹法政大植物医科・²神奈川県立フラワーセンター大船植物園
³神奈川県立フラワーセンター大船植物園)
バラ類黒星病菌(*Diplocarpon rosae*)の新宿主植物

座長：石川成寿

- 17 16:26 ○窪田昌春¹・飯田祐一郎¹・森島正二²
(¹野菜茶研・²栃木農業環境指導センター)
国内における抵抗性遺伝子 *Cf-5* を侵すトマト葉かび病菌レースの出現

- 18 16:38 ○渡邊恒雄
(産総研)
植物の土壌病害と菌類研究関連試料の整理と保存

17:00～19:30 懇親会(大学会館2階 談話室)

9月12日(金)午前

座長：平塚和之

- 19 10:30 ○石賀康博¹・Srinivasa Rao Uppalapati²・Kirankumar S Mysore²
(¹筑波大生命環境・²ノーブル財団研究所)
統合オミックス解析に基づくタルウマゴヤシ非宿主抵抗性の解明
- 20 10:42 ○中島港人¹・毛利千里²・小松 健^{1,3}・寺岡 徹¹・有江 力¹
(¹農工大院農・²農工大農・³農工大テニュアトラック機構)
Fusarium 属菌および *Trichoderma* 属菌のソルガム茎葉を基質とした同時糖化発酵能
- 21 10:54 ○國府田こごみ・中島雅己・阿久津克己
(茨城大農)
病原性の異なる *Botrytis cinerea* 野生株の O₂ 代謝に関する研究
-

座長：石賀康博

- 22 11:06 ○浅井秀太^{1,2}・Rallapalli G¹・Piquerez SJM^{1,2}・Caillaud M-C¹・Furzer OJ¹・Ishaque N¹・Fabro G¹・白須 賢²・Jones JDG¹
(¹The Sainsbury Laboratory, UK・²理化学研究所 環境資源科学研究センター)
トランスクリプトーム解析によるサリチル酸誘導抵抗性を抑制するべと病菌エフェクターの同定
- 23 11:18 ○石田浩高¹・小倉里江子²・平塚和之²
(¹横浜国大理工・²横浜国大院環境情報)
新規発光レポーター系を用いた病害応答関連タンパク質の *in vivo* 相互作用検出系の開発
- 24 11:30 ○鈴木宏明・浜田紗稀・山澤佳奈・盤指 豪・小倉里江子・尾形信一・平塚和之
(横浜国大院環境情報)
病害応答性 *BIK1* 遺伝子を発現誘導する低分子化合物の探索と特徴付け
-

<昼休み> 11:42~13:00

9月12日(金)午後

座長：福井 糧

25 13:00 ○北沢優悟・根津 修・二條貴通・吉田哲也・宮崎彰雄・原慎一郎・前島健作・
難波成任

(東大院農)

*Pseudomonas cichorii*によるコスモス葉枯細菌病(新称)

26 13:12 ○畔上耕児

(農研機構・野菜茶研)

*Pantoea*属菌の雑草等からの分離とタマネギ鱗茎, ネギ葉, タバコ葉への接種

27 13:24 ○根岸明日香・西山研一・木村亮太・キム オッキョン・根岸寛光・篠原弘亮

(東京農大農)

農業生物資源ジーンバンクに保存されている植物病原細菌の各種薬剤に対する感受性

座長：生井 潔

28 13:36 ○増中 章¹・吉田信代¹・森本信生¹・松倉啓一郎²・菅原幸哉³・藤森雅博³・
久保田明人³・柴 卓也⁴・荒川 明²

(¹畜産草地研・²九州沖縄農研・³東北農研・⁴中央農研)

イタリアンライグラス種子内の共生糸状菌 *Epichloë occultans* (syn. *Neotyphodium occultans*)のPCR検出

29 13:48 ○金子洋平

(千葉農林総研)

ナシ炭疽病のQoI剤に依存しない防除薬剤の探索

30 14:00 ○岩波靖彦・小仁所邦彦・伊原竜夫・島津忠昭

(長野南信試)

ニホンナシ新品種「サザンスイート」の主要病害に対する感受性と病害防除

31 14:12 ○清水友佳理・松井真里子・福井 糧

(宇都宮大農)

単糖の土壌施用によって誘導される苗立枯病に対する抑止効果並びにその作用メカニズムの解明

14:24 閉会挨拶 (関東部会長：夏秋 知英)

<第10回 若手の会> 15:00~17:00
